

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-4 文化財の保存・継承と活用
---------	----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化財課長 丹羽野 裕	電話番号	0852-22-6468
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	歴史遺産保存整備事業		
目的	(1) 対象	県民、文化財所有者、保持団体	
	(2) 意図	文化財の滅失や損亡を防ぎ、将来に継承していくため、歴史遺産の保存・整備事業を実施する。	
事業概要	1. 国・県指定文化財の保存のための修理や整備を促進するために、市町村又は指定文化財所有者に対して、保存整備に要する経費に対して助成する。 ※国指定文化財：国の補助残の1/2～1/3以内、県指定文化財：経費の1/2～1/3以内 2. 防災（防火、防犯等）設備の適切な管理をするために、国指定文化財所有者に対して、管理経費の一部を助成する。 3. 身近な地域の伝統文化を保存・継承するため、無形民俗文化財保持団体に対して、中・四国ブロック民俗芸能大会への参加を支援し、発表、公演の機会を与え、団体の活動の活性化を促す。		

2. 成果参考指標

(1) 指標名	補助要望充足率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		100.00	100.00	100.00	100.00	
式・定義	助成採択件数/助成要望件数	実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		%
		達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	補助要望充足率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	237,210	255,657
うち一般財源(千円)	235,522	250,949

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

修理・防災対策等の事業件数は23件、防災設備等の管理助成件数は17件実施しており、件数では大規模修理等事業を特別需要枠で対応することとした平成24年度以降の状況と大きく変わるものではなく、保存上緊急度が高い文化財修理等を適切な時期に実施する事により、将来に発生する費用の削減につなげている。
 ※平成25年度：修理等22件、管理助成17件 平成24年度：修理等27件、管理助成17件
 ※平成23年度：修理等13件、管理助成18件

6. 成果があったこと（改善されたこと）

出雲大社関係や国・県指定文化財の修理等の内、4件（旧堀氏庭園、菅谷たたら、佐太神社、興雲閣）の大規模で長期間にわたる事業については、特別需要枠で修繕を実施した。
 特別需要枠で大規模修理等事業が、一般施策枠で建造物の屋根葺替等の中規模修理や記念物の整備等が進むことによって、適切な時期に修理・整備を行うことができ、将来に発生する費用の削減等が可能となっている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
市町村からの要望に基づいた長期事業計画によって保存修理等の事業調整を行い、優先度の高いものから実施しているが、事業計画に上がっていない事業や災害による毀損等に対する事業の要望があると、事業調整が難しくなる場合がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
長期的な修理等事業の把握が不十分であることや予算上の制約
- ③原因を解消するための「課題」
文化財の現状把握をより正確に行うことや、柔軟な対応が可能な予算確保。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

文化財の現状把握するため、市町村担当者との連絡を密にし、現地確認をする機会を増すと共に、補助事業の要望等に係るヒアリングを適正な時期に実施する必要がある。
 対象物件の緊急性や必要性を把握した上で、予算の確保に努め、中長期的な事業計画を適宜見直しながら、適切な事業効果が生じるよう事業内容を決定し、効率的な執行を行っていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）